

第2回 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (戸塚地区センター及び戸塚公会堂)	
日 時	令和3年8月24日(火) 11時10分から12時10分まで
開催場所	戸塚区役所6階 中会議室
出席者	【委員】 名和田委員長、中嶋委員、金山委員、鷺見委員 【臨時委員】 相澤委員 【事務局】 地域振興課長 岩崎、区民利用施設担当係長 情野、田中、鈴木、青木
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者3人) 審議については、非公開
議 題	1 定足数の確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 (応募団体が1団体だったため、団体名を開示して実施) 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市戸塚地区センター及び戸塚公会堂指定管理者の候補者について 最低基準の6割を超えたことを確認し、「公益社団法人とつか区民活動支援協会」を 指定候補者として区長に報告する。
質疑応答	「公益社団法人とつか区民活動支援協会」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) 戸塚地区センター及び戸塚公会堂は戸塚図書館と併設していることもあり、駐輪場の混雑が見受けられる。どういった対策を検討しているか。 団体) 定期的な見回りを行い、利用目的以外で駐輪している方に対しては警告等を行うことで、対策の強化を図っている。 委員) 利用者のニーズを基に、例えば会議室や打合せスペースの有効活用等改善を計画していることがあれば教えて欲しい。 団体) 周辺に学習塾が多数あることから、中高生を中心として学習目的の利用者が多い。そのため、電気スタンドの設置や座席の増設をして学習スペースを充実させていた。現在は新型コロナウイルス感染症の影響により座席数を半分程度に減らしているが、依然として利用者が多いため、利用予約のない会議室を臨時学習室として使用できるよう臨機応変に対応していきたい。 委員) 戸塚公会堂の中にも会議室があるが、稼働率はどのような状況か。 団体) コロナ禍以前は、7割程度で推移していたが、現在は4割程度に減少している。 委員) 今日的課題の解決に向けた取組として提案している日本語教室は、どのような課題があって実施する企画なのか。

	<p>団体) 戸塚区には外国人が多く居住しており、そういった方々から戸塚区の暮らしやすさを伝達して欲しいという思いで、施設の近隣の方を講師として迎えて開催した。</p> <p>委員) 利用者ニーズを受けた企画というよりも、自主的に考えた課題に対する取組ということか。</p> <p>団体) その通り。</p> <p>委員) 第三者評価の中では社会福祉協議会と情報交換をして地域の方と一緒に地域交流食堂の実施に向けて準備しているとあるが、提案している自主事業の中には該当箇所が見当たらないため、ご説明願いたい。</p> <p>団体) 新型コロナウイルス感染症の影響で自主事業がなかなか進められない現状がある。地域交流食堂についても同様の状況となっており、具体的な事業として提案書では強調できなかった。一方で、地域交流食堂の代替企画として、提供いただいた食品を配布することで食品ロスに取り組んだ実績もある。</p> <p>委員) 青少年の健全育成、困難を抱えた青少年のための支援等に地域とともに取り組むということで、具体的にどのようなことを想定しているか伺いたい。</p> <p>団体) 学習支援を想定して提案している。</p>
特記事項	

第2回 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (大正地区センター)	
日 時	令和3年8月24日(火) 13時30分から14時30分まで
開催場所	戸塚区役所9階特別会議室
出席者	【委員】名和田委員長、中嶋委員、金山委員、鷺見委員、 【臨時委員】玉田委員 【事務局】地域振興課長 岩崎、区民利用施設担当係長 情野、田中、鈴木、青木
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者2人) 審議については、非公開
議 題	1 定足数の確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 (応募団体が1団体だったため、団体名を開示して実施) 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市大正地区センター指定管理者の候補者について 最低基準の6割を超えたことを確認し、「公益社団法人とつか区民活動支援協会」を指定候補者として区長に報告する。
質疑応答	「公益社団法人とつか区民活動支援協会」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) 図書について、地区センターだけだとスペースも限られているが、近隣小学校の市民図書とどういった連携をとっていくのか。 団体) 11月の読書活動推進月間に合わせて、近隣小学校や近隣の地域ケアプラザ、保育園と連携してスタンプラリーを行うよう企画している。 委員) 自主事業の提案について、スポーツ推進委員や青少年指導員等の地域で活躍している団体、町内会等と連携していく内容だが、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、どういったところに気をつけながら取り組んでいくよう考えているのか。 団体) 横浜市の方針にも照らして、飲食を伴うイベント等は開催を控える。それ以外のイベントについては、3密回避などのいわゆる感染症対策を行い、開催可能なものから進めていきたい。区内の区民利用施設の間で実施している施設間連携促進事業にも参加し、コロナ禍においてどういった交流ができるか等の話合を行っており、工夫しながら自主事業を展開していきたいと考えている。 委員) 大正地区はとても広く、地区内でも遠方に住んでいる方にとっては参加が難しい状況にある。そういった方に向けた地区センターのPRとして、どのように取り組んでいくよう考えているのか。

	<p>団体) 横浜市が発行している広報よこはまの戸塚区版に、施設からのお知らせを掲載している。また、地区センター便りを毎月発行し、各自治会町内会に回覧をお願いして、地区センターで開催している事業や取組を紹介している。</p> <p>委員) 提案書の中に記載のある井戸端会議等で利用者の声を把握することは大事なことと考えるが、コロナ禍で開催が難しい状況にもあると思う。そういった中でどのように利用者の声を把握していこうと考えているのか。</p> <p>団体) 利用者会議、地区センター委員会、利用者アンケート等によって利用者の声を把握するよう努めている。それと合わせて、実際に施設の中で利用者の方々とコミュニケーションを取りながら、利用者の声を把握していきたいので、積極的にお声掛けをしていく。</p> <p>委員) 自主事業として取り組む井戸端会議について、これまで開催した中で、利用者との会話の中から地域の課題を見つけて、具体的に何らかの動きに繋がったという実例があれば教えていただきたい。</p> <p>団体) 井戸端会議については、会話の中から地域の情報を知ることが多い。実例として、地域の中に蓄音機を所有している方がいらっしゃるという情報を知り、その後、井戸端会議の中で蓄音機コンサートを実施したことがあった。とても好評で、多くの方が参加したということがあった。</p> <p>委員) 地域と連携して防災訓練を実施すると提案しているが、具体的にどのように実施することを考えているのか。</p> <p>団体) 地域の方が地区センターを利用している際、一緒に避難訓練を実施することを考えている。また、消防署の協力を得て消火器訓練を実施する際に、地域の方にも声を掛けて参加していただく、ということも考えている。</p>
特記事項	

第2回 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (東戸塚地区センター)	
日 時	令和3年8月24日(火) 14時40分から16時10分まで
開催場所	戸塚区役所9階特別会議室
出席者	【委員】名和田委員長、中嶋委員、金山委員、鷺見委員、 【臨時委員】伊東委員 【事務局】地域振興課長 岩崎、区民利用施設担当係長 情野、田中、鈴木、青木
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者4人) 審議については、非公開
議 題	1 定足数の確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市東戸塚地区センター指定管理者の候補者について 応募団体(2団体)の評点について、最低基準の6割を超えたことを確認し、指定候補者を「公益社団法人とつか区民活動支援協会」、次点候補者を「株式会社有隣堂」として区長に報告する。
質疑応答	「株式会社有隣堂」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) 東戸塚地区センターは発災時の避難所や一時滞在施設となっているが、避難者等が多く来てしまうことも想定される。そうした場合には施設管理者としてどのように対応していくのか。 団体) 近隣施設等と連携していくことで、円滑な避難を支援していきたい。発災時のことも想定して日頃から施設連携を意識した運営を行っていく。 委員) 他の施設との連携事業については多様な提案がなされているように感じるが、自治会、町内会等の地域との連携についてはどのように進めていくのか。 団体) 周辺地域とも連絡を取り合い、地域のイベントを地区センターで実施する等、連携していくことを考えている。 委員) 地域で活動している方との連携ということで、具体的なアイデアを教えてください。 団体) 地区センター祭りを一緒に作っていく。それ以外にもイベント関係が必要であれば実現していきたい。また、自主事業に参加した方同士でコミュニティができ、自主事業からサークル活動へ移行し、地域の方々に地区センターの部屋を借りて、活動を進めていくという流れを作っていく。 委員) 地区センターを地域コミュニティの拠点として位置づけているが、自然にそうなるわけではなく、コーディネートしていく必要があると考える。提案書の研修計画の中には、それに関連した研修がないが、団体としてど

	<p>う考えるか。</p> <p>団体) 具体的な研修計画として提案していないが、地域との繋がりや日常的に館長、副館長が中心となって培っていききたい。また、コミュニティスタッフについては周辺地域の方を積極的に採用していく。そうした中で、助け合える街づくりを進めていききたいと考えている。</p> <p>委員) 東戸塚周辺はマンションが多く、若い世代も多く居住している。そういった世代にも地区センターに足を運んでもらえるような工夫等は考えているのか。</p> <p>団体) 図書を充実させていくことで地区センターに来ていただくよう進めていきたい。絵本やビジネス本等、様々な世代を対象にした図書を揃えていく。また、広報の観点では、若い世代がよく利用しているソーシャルメディア等を活用して告知していく。</p> <p>「公益社団法人とつか区民活動支援協会」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】</p> <p>委員) 自主事業として新たに組み込んでいく事項について、補足説明をして欲しい。</p> <p>団体) 高齢者向けとして、健康、生きがいづくりに関する事業、特に、認知症予防の観点からエクササイズ等を実施していきたい。また、東戸塚にあるスポーツクラブと連携して、子ども向けのサッカー教室を定期的実施していきたい。</p> <p>委員) 東戸塚地区センターは発災時の避難所や一時滞在施設となっているが、避難者等が多く来てしまうことも想定される。そうした場合には施設管理者としてどのように対応していくのか。</p> <p>団体) 近年、各地で甚大な被害が発生しており、大勢の避難者が来られる状況も考えられる。戸塚区とも調整しながら、体育室だけでなく、広く地区センター全体を活用していくことを想定している。また、現在は新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、避難者同士が最低限のディスタンスがとれるよう気をつけなければならない。</p> <p>委員) 自主事業に参加した方が、その後自主的に活動していけるよう施設側として取り組んでいくことや計画があれば教えて欲しい。</p> <p>団体) NPO団体との共催事業等は自主的な活動となった事例がある。地区センターとしては場所の提供と後方支援をしっかりとやっていきたい。</p> <p>委員) 地区センターのスタッフが求められる専門的なスキルを全員が体系的に学ぶことができるような研修計画は考えているのか。</p> <p>団体) 団体全体で実施している個人情報取扱等の基本的な研修だけでなく、休館日を利用してスタッフ全員で意見交換や資料共有を通して全体のスキルアップに取り組むことを考えている。</p>
特記事項	

第2回 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (上矢部地区センター)	
日 時	令和3年8月24日(火) 10時00分から10時50分まで
開催場所	戸塚区役所6階中会議室1
出席者	【委員】名和田委員長、中嶋委員、金山委員、鷺見委員、 【臨時委員】相澤委員 【事務局】地域振興課長 岩崎、区民利用施設担当係長 情野、田中、鈴木、青木
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者0人) 審議については、非公開
議 題	1 定足数の確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 (応募団体が1社のみだったため、団体名を公表して実施) 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市上矢部地区センター指定管理者の候補者について 最低基準の6割を超えたことを確認し、「共同事業体NPO法人みんなのまちづくりクラブ・NPO法人建物管理ネットワーク」を指定候補者として区長に報告する。
質疑応答	「共同事業体NPO法人みんなのまちづくりクラブ・NPO法人建物管理ネットワーク」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) 地域との一体化について、施設が立地する連合町内会と一緒に実施する事業はあるか。 団体) 学校が夏休みの際に「夏休みこどもまつり」を実施しており、連合町内会やスポーツ推進委員など、様々な地域の団体にご協力をいただき実施している。 委員) 個人情報の関係で団体のホームページにプライバシーポリシーに関する記載がない。利用されている方にとってはどのように管理しているか気になると思うがいかがか。 団体) 現在ホームページはウェブアクセシビリティに対応できるよう改善している。プライバシーポリシーについても加える。 委員) 地域の人たちと一緒に自主事業を行う中で、地域の人たちの変化を感じることはあったか。 団体) ボランティアとして地域の人たちのご協力を得て実施した月イチカレー等の居場所づくり事業があるが、こどもやシニアの居場所だけでなく、ボランティアとして携わった地域の人たち自身の居場所のような形になり、とても良かったと感じている。

	<p>委員) 団体利用者が高齢化している一方で、マンションが増加し、若い人が増えている、という地域分析をしているようだが、そうした状況の中で施設としてどのように取組んでいくか。</p> <p>団体) 団体利用者の高齢化はとても感じている。工業団地やこども会等に声掛けをして、若い人がもっと積極的に関わるようにしたい。</p> <p>委員) 自主事業を行った後、新たにグループ化するケースがあると思うが、今後予定はあるか。</p> <p>団体) 書道サークルが高齢化で解散してしまったので、新たな講師を探して動いている。</p> <p>委員) 地域福祉保健計画や上矢部地区の地区別計画に関連して企画した事業はあるか。</p> <p>団体) コロナ禍で子育て中の保護者が孤立している状況が見られるので、気軽に話ができる場を作りたい。また、保育付の講座を増やして参加者を増やしたいと考えている。</p> <p>委員) 地域ケアプラザ、民間事業所との合築施設だが、共催事業はあるか。</p> <p>団体) 3施設のお祭りを同日に開催することで、全ての施設を見て回るようにしている。</p>
特記事項	

第2回 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (舞岡地区センター)	
日 時	令和3年8月25日(水) 10時10分から12時00分まで
開催場所	戸塚区役所9階 特別会議室
出席者	【委員】 名和田委員長、中嶋委員、金山委員、鷺見委員 【臨時委員】 齋藤委員 【事務局】 地域振興課長 岩崎、区民利用施設担当係長 情野、田中、鈴木、青木
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者6人) 審議については、非公開
議 題	1 定足数の確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市舞岡地区センター指定管理者の候補者について 応募団体(2団体)の評点について、最低基準の6割を超えたことを確認し、指定候補者を「公益財団法人横浜YMCA」、次点候補者を「公益社団法人とつか区民活動支援協会」として区長に報告する。
質疑応答	「公益社団法人とつか区民活動支援協会」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) 提案内容及びプレゼンテーションの中で、舞岡地区の特性については触れられているが、柏尾地区については全く触れられていない。利用者の多くは舞岡地区かもしれないが、地区センターの運営にも関わりのある柏尾地区についてはどう認識しているのか。 団体) 地区センターから徒歩30分圏内を利用範囲と考えているため、当然柏尾地区も利用範囲内だと認識している。 委員) 安全安心な施設運営として、地震に対する取組について提案しているが、風水害の問題についてはどう考えているか。 団体) 舞岡地区センターは風水害時の避難所として位置づけられているため、団体としても区への情報提供等で協力していく。 委員) 施設周辺地区における災害対策について、危機管理や発災時の初動対応に関する計画は具体的にどのようなものか教えてほしい。 団体) 団体として危機管理マニュアルを整備し、災害時でも対応できるように職員や施設スタッフを対象とした図上訓練や消火器訓練等を実施している。 委員) 舞岡地区センターの利用圏内は高齢化の進む地域でもあるため、高齢者向けの取組にはどのようなものがあるのか教えてほしい。

	<p>団体) 近隣病院と連携した認知症講座やさわやか健康体操を実施し、利用者間での顔の見える関係づくりを促進したいと考える。特に、男性の高齢者層の利用が囲碁や将棋に偏る傾向があるため、昔のレコードを聴きながらコーヒーが飲めるイベント等、誘い合って参加できる事業を提供していく。</p> <p>委員) ICT関連の提案として、インターネットで施設予約を行うとあるが、インターネットが使えない方への対応策を教えてください。</p> <p>団体) インターネット予約が難しい方については、従前どおり窓口での予約受付を行う。併せて、利用者がインターネット予約活用できるよう、サークル活動を行う地域団体と協力し、インターネットやスマートフォンの利用に関する講座を提供していく。</p> <p>「公益財団法人横浜YMCA」によるプレゼンテーション10分を実施</p> <p>【質疑応答】</p> <p>委員) 指定管理者制度として運用されており、5年間の管理運営の後、指定管理者が変わる可能性があるが、利用者は変わらないため、新旧団体間で連携がとれていないと利用者に戸惑いを与えることにつながる。このような観点での継続性についてどう考えているか。</p> <p>団体) 利用者が変わらずに利用できるようにしていく必要がある。日頃から区内地区センター同士で横のつながりを持つことが大事と考える。</p> <p>委員) 特定の利用者が複数の団体に所属し、団体利用の予約を独占するといった問題が生じた際、利用の公平性を確保するための対応策を教えてください。</p> <p>団体) 団体登録の際にメンバー表を提出してもらい、メンバーの多くが他団体と重複していないかを確認することで、公平性を確保する。</p> <p>委員) 地域の担い手づくりや若手サポートに関する事業が多く提案されているが、高齢者を対象とした事業はどのようなものがあるか教えてください。</p> <p>団体) 当団体の強みを活かし、健康づくりを目的としたストレッチ教室や舞岡公園でのウォーキング事業を継続して実施することで、参加者同士がつながるきっかけにしてもらいたい。また、舞岡柏尾地域ケアプラザと連携した認知症サポート等も検討しており、高齢者のニーズに沿った自主事業やサービスを提供する。</p> <p>委員) 地域団体との連携について教えてください。</p> <p>団体) 地域における各種団体にとって、地区センターを交流の場として認識してもらおうことを重要視しているため、自主事業を実施する際、内容に応じて関連する地域団体との協働を積極的に図りたいと考えている。</p>
特記事項	

第2回 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (倉田コミュニティハウス)	
日 時	令和3年8月25日(水) 9時00分から9時50分まで
開催場所	戸塚区役所9階特別会議室
出席者	【委員】名和田委員長、中嶋委員、金山委員、鷺見委員、 【臨時委員】田中委員 【事務局】地域振興課長 岩崎、区民利用施設担当係長 情野、田中、鈴木、青木
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者0人) 審議については、非公開
議 題	1 定足数の確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 (応募団体が1団体だったため、団体名を開示して実施) 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市倉田コミュニティハウス指定管理者の候補者について 最低基準の6割を超えたことを確認し、「社会福祉法人開く会」を指定候補者として区長に報告する。
質疑応答	「社会福祉法人開く会」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) 倉田コミュニティハウスでは主にどのような人が利用し、どのような活動が盛んに行われているか。 団体) 部屋利用するサークル団体の登録が400件。利用者は子育て中の親子、子ども、高齢者等の日中比較的地域にいる方で、割合としては女性が多い。放課後に小中学生が多くなり、中学生や高校生に向けて自習室としても開放している。 委員) 貸館の稼働率は何%か。 団体) 利用者は3万人、稼働率70%を目標としており、利用者3万人は達成したが稼働率は68.5%だった。 委員) 決算書のうち、その他のサービス活動外収益が大幅に増えている原因は、どのような理由か。 団体) 新型コロナウイルスに関連した支援金等の活用があったためだと考えられる。 委員) これまでの活動の中で見えてきたことや、次年度に向けて課題や新たに組みたいことはあるか。 団体) 高齢者だけでなく、全年齢を対象とし、一緒に取り組む事業に申込がとでも多かった。また、趣味を切り口にした取組で、少し難易度の高い目標

	<p>を設定すると積極的に取り組んでもらえると感じた。</p> <p>委員) コーディネート職を大事にしていることが伝わる提案内容だが、コーディネートの研修はOJTか、施設の外でコーディネートを学ぶ研修をしているのか。</p> <p>団体) 研修ではないが、地域ケアプラザや地域の事業所に顔を出し、顔をつないで話を聞く中で学んでいる。</p> <p>委員) 緊急時の連絡先は掲示しているのか。</p> <p>団体) 利用者から見える位置ではなく、職員からすぐに目の届く受付内に掲示している。</p>
特記事項	